

カトリック

広島教区報

No. 93

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42
広島司教区内
TEL (082) 221-6017

福者祭百寿までにと風光る

乙女峠まつり

カトリック広島司教区長

前田万葉司教



ジョセフ・チェノットウ教皇大使と前田司教

五月三日、「信仰年・広島教区創立九十周年記念乙女峠まつり」が島根県・津和野町の乙女峠で盛大に行われました。前夜祭での林尚志神父様の記念講演会は、「津和野には愛と平和と人権を信じて叫ぶ殉教者あり」と詠ませていただく内容でした。そして私は、翌日の本祭で、「卒寿から

百寿までにと広島は乙女峠の福者祭立つ」と宣言する勇気をいただきました。つまり、信仰年と教区創立九十周年を機に、乙女峠の殉教者たちの列聖運動を正式に始める。そして、百周年までに少なくとも列福を実現させる。そのため教区の新しい確かな出立の日だと呼びかけたかったからです。当地に建つ「信仰の光」碑に同調するかのよう、風まで光って列福を後押ししているかのよう、感じました。「福者祭百寿までにと風光る」。

五月三日は三千人近い参加者と、三体のマ



三体のマリア像

リア様（地元・津和野のマリア様、ポルトガル・フアチマからドイツ、韓国を回ってきたマリア様、それに長崎・浦上の被爆マリア様）の行列で始まりました。「アベマリア響く津和野路乙女祭」。「武器に代えマリア像担ぐ五月かな」。特に、殉教者たちの故郷・浦上教会の子どもたちが、しかも被爆マリア像を担いで初の参加は、列福運動と平和の使徒を目標とする広島教区民を勇気づけました。行列は、乙女峠にさしかかり、萌えるような若葉の中、マ

リア様もさすがに嬉しそうでした。「マリア笑む乙女峠や五月晴れ」。やがてミサが始まり、殉教者との天上の宴のような、マリア様の懐にかくまわれているような聖なる時空を感じました。「若葉萌え乙女峠はミサの中」。

このミサの中で、殉教者列福はもちろん、司祭・修道者召命（五人から十人の司祭誕生など）、青少年育成（予備神学校設立や教区共通養成テキスト作成も含む）の十年計画目標の達成を祈願いたしました。このような、信仰、希望、愛を百周年（百寿）に向け、引き継ぎ、伝えましょう。当日の乙女峠まつりや信仰年の幟、そして各教会各教区の幟が同調してくれているかのようでした。「乙女峠まつりの幟引き継ごう」。

前田万葉司教メッセージ
教区の動き・平和行事・堅信を受けられた方
東日本大震災支援関連・JICA R M 広島
重要文化財世界平和記念聖堂関連
地区・海峡からの風・施設・青少年・ひと粒

一面
二・三画
四面
五画
六〜八画



2013年5月4日
カトリック広島司教区
教区創立 90周年ポスター

札幌教区の新司教任命

新司教任命



勝谷 太治 被選司教

教皇フランシスコは、六月二十二日、札幌教区の新しい司教にベルナルド勝谷太治師（五十七歳）を任命した。札幌教区は、地主敏夫司教が引退し三年数か月、司教空位となっていた。

司教叙階式は、十月十四日（月・祝）に札幌市内で行われる。

教区の動き

平和の使徒推進本部

【二〇一三年度（第一回）

広島司教区宣教師司牧評議会

開催】

去る六月九日、二〇一三年度第一回広島司教区宣教師司牧評議会（以下、教区宣教師評）が、広島カトリック会館多目的ホールで開催された。前田司教、司祭、修道者、信徒の二十三人が出席した。

はじめに前田司教から「信仰年、教区創立九十周年を迎え、前向きな会議となりますように」との挨拶に続き、以下の三つの項目について説明された。

●第一「教区列聖運動」

「教区列聖運動推進部会」「歴史部会」「法務部会」の立ち上げの検討。まずは第一回教区列聖運動推進部会を五月三日に開催。歴史部会は、部会メンバーの人選調整中。法務部会は、各役割の担当者を選定。現在配布されている「列福の祈り」のカードを、「列聖の祈り」と改め活用する

予定。資金面については、今後どのように調達、皆さんにお願いするか、検討が必要。

二〇一二年度臨時司教総会において「津和野の殉教者の列聖運動」について、司教協議会に提案。今後の進め方として、準備委員会を設置。今後、列聖に関する集会、講演会などで教区民に理解を深めてもらう。

●第二「召命促進」

教区創立一〇〇周年に向けて五人から十人の教区司祭を誕生させたい。そのために予備神学校を創設する準備を開始。

●第三「教区共通テキスト作成」

初聖体（岡山・鳥取地区担当）、堅信（広島地区担当）、結婚（山口・島根地区担当）の共通テキスト作成に力を注ぎ、教区の基礎固めを行う。

議題は、まず教区創立九十周年と信仰年の取り組みについて、平和の使徒推進本部（以下、推進本部）から報告と説明があった。●教区創立九十周年フォト

モザイクポスター（世界平和記念聖堂内「再臨のキリスト」への写真提供数の状態は、全信徒数の約二十パーセント（三五三〇人）の参加率であった。この数は、主日のミサに与っている信徒数に置き換えて見ることが出来る。この数は今後の教区全体の状況把握と様々な課題への対応策の一助になるのではないだろうか。



「行委員会」と位置付けて準備を開始。決定していることは、十四時から閉幕ミサ、また、フードフェスタ（仮称）を広島地区が中心に準備して行く予定。

続いて、来年度および来年度以降の教区方針について、まず、推進本部から、十年用のメインテーマを決め、一〜二年間隔でサブテーマを決める活動方針にしたい、との提案があり、以下のことを準備する予定。

●前記の三つの項目（教区列聖運動、召命促進、教区共通テキスト作成）を中心に、各地区で検討し、次回十二月の教区宣教師評で決定して行く予定。

●各地区では、一〇〇周年に向けた十年間続けるメインテーマと、一〜二年間隔で変更するサブテーマ（案）の複数候補を検討、準備して次回の教区宣教師評に持ち寄ってもらう。

●信仰年閉幕（十一月二十四日）の行事については、今後、詳細を検討し、準備して行く予定。七月の推進本部会議を「第一回実

い福音宣教」に向けたものにする。

●様々なところで、福音宣教の価値観の違いがある。「福音を証しする」ことにおいて、根本的な「福音の証し」が大切。

●子どもも大人も一緒に、共に分かち合えるテーマにしたい。

●司教総会で、日本に「新福音宣教委員会」を立ち上げようとの動きが出ている。新しい熱意。新しい方法。新しい表現。今の人たちに分かりやすく、どう伝えていくかが大切。もう一度ふり返って、見直していく雰囲気が必要とされている。そうした現状から、テーマ、サブテーマが信者全員の中から、具体的な案として湧き出て欲しい。（前田司教）

続いて、召命促進・青少年育成について、報告と意見交換があった。

●予備神学校を始める準備を行っている。その中で、従来の聖書、要理を使った勉強も取り入れていく予定。

● 広島地区の青年は、定例の集まりの中で、情報交換と、今後の活動について話し合っている。色々な集まりやボランティア活動への参加。青少年の減少に将来の危機感を抱いている状況。現在の優先課題は、教会学校の活性化。しかし、リーダーの減少、教会離れが懸念。そうした中、神学生との交流も大切。中国ブロック高校生大会（中ブロ）への参加者の減少傾向が懸念。

● 山口・島根地区の青少年の状況として、中ブロのスタッフは少ない。また、そのスタッフも信者でない現状。スタッフ育成が課題。中ブロは、出会い、キリストの愛、相手を思いやることを大切にしたい。日本人司祭の参画により、召命の魅力を伝える機会として捉えて欲しい。

● 岡山・鳥取地区の青年は、岡山教会の青年が中心であるが、減少傾向が懸念される状況。どうすれば盛り上がるか、課題は多い。

● 青少年育成は、司祭と青少年のコミュニケーションが大切。中ブロの価値、意義から、今後も続けることが大切。この集いをきっかけに、洗礼を受けた人、洗礼を受けなくても、キリスト者としての精神で活躍している人もいる。司祭としての任務も考え、共にがんばりましょう。また、世界平和記念聖堂を訪れる学校関係者と触れ合う機会は、新しい形の福音宣教につながる。教区としても力を注ぎたい。（前田司教）

教区宣司評の後半は、五月に各地区で行われた地区宣教司牧評議会の報告（活動報告、活動予定含む）、伯雲ブロックからの報告があった。

以上のことが話し合われた後、前田司教から「遠路、長時間ありがとうございました。今後ともよろしくお願います。」と挨拶され、祈りと祝福のうちに三時間の教区宣司評を閉会した。

平和の使徒推進本部は、隔月で、推進本部会議を開催しています。教区宣司評は年二回の開催であるため、有意義な伝達、情報交換ができないのが現状です。地区、ブロック、更には小教区で開催される宣教司牧評議会、教会委員会などを有効に活用、機能させるため、各々の会議へ出席される方の各所への積極的な情報伝達、意見の吸い上げをお願いします。

意見や要望など、平和の使徒推進本部までどうぞ。
（平和の使徒推進本部）

広島司教区 堅信を受けられた方 (2013年4月から)

おめでとうございます！

- ◆山口教会 (4月14日)
フランシスコ・サビエル 京牟礼 矩記
ヨハネ・パウロ 竹本 俊彦
マリア・サベリオ・フランチェスカ 中田 真理子
マリア・グラティア・アナスタシア 永田 ゆりあ
マリア・ピラール 西 和子
マリア・クララ 原田 栄子
マリア・モニカ 原田 スミ子
マリア・フランシスカ 藤見 真知子
ルカ 本田 清之亮 / カタリーナ 山城 亜由美
マリア・フランシスカ 山根 文江
- ◆幟町教会 (5月19日)
モニカ 中野 洋子 / マリア バルバラ 麻理子
マリア 牧野 千恵 / マリア・テレジア 大方 ルミノア・ヴェロニカ 金澤 見和 / ペトロ 津島 武志
ルチア 山縣 早紀 / レジン 原 世理奈
- ◆北若山教会 (5月26日)
マキシミリアノ・コルベ
横山 武美
ガブリエラ 山縣 元子
- ◆尾道教会 (6月16日)
クリスティーナ 上野 恵子
アントニオ 貝塚 尚広
マリア・アグネス 竹野 尚子



2013 平和行事 8/5~8/6,8/9

真実を見抜こう
核と改憲



8/5 (月)

- ・ 13:30 ~ 14:45 基調講演
「アメリカの『原爆館』と『無知』」
詩人 アーサー・ピナードさん
- ・ 15:00 ~ 16:30 分科会
被爆証言、福島証言、憲法問題、
上関の原発建設反対運動、
映画上映「運命の背中」、
こどもプログラム 絵本読みきかせ
- 【日本聖公会との合同プログラム】
- ・ 17:30 ~ 17:50 祈りの集い
原爆供養塔前 (平和記念公園)
- ・ 17:50 ~ 18:30 平和行進
原爆供養塔前 ~ 世界平和記念聖堂
- ・ 19:00 ~ 20:15 平和祈願ミサ

8/6 (火)

- ・ 8:00 ~ 9:00 原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ
- ・ 9:30 ~ 12:30 ピースウォーク
- ・ 18:00 ~ 原爆犠牲者のための
スピリチュアルコンサート

8/9 (金)

- ・ 11:00 ~ 長崎原爆犠牲者追悼ミサ
(世界平和記念聖堂 地下聖堂)

東日本大震災支援

シスター山本からの手紙

NPO法人 カリタス釜石です！

広島教区から被災地に向いているSr.山本紀久代（援助修道会）から便りが届きました。

「昨年の八月からわたしが活動させていただいているカリタスの釜石ベースが釜石市から認定を受け、四月からNPO法人カリタス釜石として活動を始めました。お茶っこサロンや手芸などのサークル活動といっ



NPO 法人カリタス釜石

子どもたちが周りを気にせず遊べる部屋がほしいなど、地域の切実な要望は尽きません。NPO法人になってもカリタスジャパンはご支援くださいますが、上記のような要望をかなえていくためには経済的に厳しい状況です。NPO化と共に、皆さんにも直接カリタ

た活動の中身は変わりませんが、今後はいわゆる被災地復興支援か

ら、より市民活動支援の方向にシフトしていくことでしよう。また釜石市内ではまだまだ手薄である女性サポートにも活動の範囲を広げていきたい、とのこと。プレハブのベース新築が検討されていますが、行政と協力しながら行っている配食サービスや地域に提供できる調理場がほしい、近隣で活動するボランティア団体にも使ってもらえる多目的室や、十分な遊び場がなくストレスのたまっている

広島司教区災害サポートセンター収支報告

(2011年4月1日～2013年6月30日現在)

収入	献金	14,911,297
支出	支出合計	3,212,952
	事務運営費	29,980
	振込手数料	27,690
	事務費	2,290
	旅費交通費	622,122
	支援費（派遣者の経費を含む）	2,560,850
	経費	1,075,000
	送料	37,900
	物資購入	447,950
	「地ノ森いこいの家」支援	1,000,000
繰越		11,698,345

ス釜石の賛助会員になったり、寄付金をお送りいただいたりできるようになりました。今後とも協力よろしくお願いいたします。」
寄付金の宛先は、ゆうちよ銀行普通口座、店番838、記号18340、番号19367191、名義は「特定非営利活動法人カリタス釜石」です。なお、活動状況や会員募集についての詳細はカリタス釜石のホームページをご覧ください。NPOとなつて、より地域に根付いた活動をめざしておられるカリタス釜石。皆さまのご支援をお願いいたします。

JiCaRM広島便り 頼れる友人でもありたい

岡山教会
リカルド・ブガス神父

結局のところ私たちは同じ神様の家族なのですから。

岡山教会は毎月一回英語ミサ、毎年二回国際ミサをしてきまし

私達はなぜここにいるのか、何のために生きていくのかをいつもダイナミックに探求しながら学び続けていると人格が形成され、やがてその答えも見つかるでしょう。E・B・リットン卿の名高い言葉“Leave no stone unturned.”（あらゆる手段を尽くしてください）が言うように、全力で求め続けることが人生の意義です。昨年、日本への派遣が決まったとき、誰とでも交わるには言葉が大切だ、それこそ全力で日本語を習得しようという決意した私は、現在、日本語学習を頑張っています。

た。私の初ミサは昨年九月に英語・タガログ語で行いましたが、かなりの数のフィリピン人が住んでいるのに十五人足らずの参加しかなかったのが悲しかったです。しかしやがて皆さんは教会にくることが自分の人生にとって大事であることに気づいてきました。教会は祈りを通して愛してくださる神様の存在がわかる特別な場所です。私も司祭として皆さんと大切な時を過ごすことに最善を尽くします。信頼し友情と仲間意識を注ぎます。

頼れる人がいる、恐れや心配や悩みを打ち明けられる人がいると皆さんが感じてくれるように、自分を友人として差し出すようにしています。

今、お恵みによりミサに参加する人が増えてきました。神様に感謝！

な岡山教会となつていきます。

信仰年関連行事
マリア像リレー始まる

二〇一三年五月三日の津和野「乙女峠まつり」より二体のマリア像とともに広島教区内の教会を祈りです。なぐりリレーが始まった。

二体のマリア像は、津和野のマリア像とポルトガル・ファチマ、ドイツ、韓国を回ってきたマリア像（玉野教会）で、津和野を起点に「西回り」と「東回り」に分かれ広島教区内の教会をめぐる。終点の世界平和記念聖堂（幟町教会）には十一月十七日到着予定。マリア像を迎えた教会で



浜田教会（東回り）5月19日の様子

は、「信仰年の祈り」や「津和野の殉教者の列福を求め祈り」などを唱える集いを行う予定。各教会での様子は、「平和の使徒推進本部ホームページ」に掲載されている。

前田司教叙階二周年と
金銀祝のお知らせ

前田万葉司教の司教叙階二周年の御祝いと司祭・修道者の金銀祝が、福山教会で行われる。

日時：九月二十三日(月)祝
14時～16時

場所：カトリック福山教会
内容：14時～15時 ミサ
15時～16時 祝賀会

*会場には駐車場がありません。公共の交通機関をご利用ください。自家用車で来られる方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。貸し切りバスで来られる方は、福山暁の星中高のグラウンドがご利用いただけます。詳細は、お問合わせください。

お問合せ先：

カトリック福山教会
電話 (084) 923-0614
FAX (084) 923-0615

重要文化財・世界平和記念聖堂
補修保存のための

チャリティーコンサート

幟町教会 樋口 由美

五月二十六日、エリザベト音楽大学卒業生の「ガルド」(長沼様・沖西様)主催で、演奏仲間六名と共に、コンサートが開催されました。およそ二百六十名の来場で満堂となる中、平和のメロディが奏でられました。

二〇一二年の秋に、お二人が来訪され、世界平和記念聖堂五十周年記念誌を手にながら、「人々の世界平和の願いや聖堂の歴史、現状を知って頂いたり、補修資金の一助にもなれば嬉しい」とコンサートの申し出をされました。学生時代から慣れ親しんだ聖堂であるが、この本(記念誌)を通して、ますますこの聖堂の意義を深く理解することができたと、目を輝かせて話されました。また、このコンサート開催はお二人の恩師(他の演奏仲間にとっても)、山田雪子さん(昨

年帰天、幟町教会)への感謝の意味も込めてもおられました。

愛と平和を祈る聖堂の中で、弦楽やパイプオルガン他による宗教曲・映画音楽等の演奏に感激して、「素晴らしい」「共鳴する感じが、美しい」「心が洗われた」、「キリストを思い涙した」、「イエスに守ってほしい」、「聖堂を残してほしい」、「また来たい」等の感想が寄せられました。演奏の合間には、曲の解説にとどまらず、世界平和記念聖堂の理念や現状、そして今後の補修計画についてまで、絶妙な語り口で、話してくださいました。

音楽を通して聖堂に集った方々が、あたたかさ、喜び、希望を持って帰られ、一人一人の平和が世



界平和につながると感じました。

六月十六日、演奏者六人がそろって、教会を訪ねて来られ、チャリティーコンサートの献金二十二万二千四百八十五円が、教区の世界平和記念聖堂保存活用委員会へ贈呈されました。大規模な補修工事が予定される中、教会内外の人々に世界平和記念聖堂の大切な意味を知っていただく、みんなを支えていこうという機運を高める良い機会となりました。

神の恵みと皆様のご支援、ご協力に感謝します。

地区便り

岡山・鳥取地区

●五月二十六日に第一地区宣教司牧評議会を開催した。推進チームの責任者も一人ずつ交代し、新たな出発をした。「信仰年への取り組み、これからの方向、教区百周年を目指して」のテーマでグループに分かれ話しあった。

●玉野教会では、五月三十一日に恒例の「聖母の集い」を行った。初めての試みとして、マリア様を担いで、聖歌を歌い、祈りながら教会の周りを回った。

●ミゲル・ラフオント神父様の「祈りの指導」が七月二十日から年六回、二年間に亘り、岡山教会において実施される。

●「初聖体のテキスト作り」が岡山・鳥取地区の担当であるが、養成、きょうどう推進チームを中心に、アンケートの実施と集計を行い、各小教区の現状を把握しテキスト作りに役立てている。

●教会学校のリーダー養成

講座を八月二十四日から三回、岡山教会で開催する。

●十月二十三日、第三十三回世界連邦岡山県宗教者大会が岡山カトリック教会聖デイエゴ喜齋記念聖堂で開催される(大会テーマ「心にあたたかさを―慈愛・寛容・平和―」)。八団体の宗

派(大本岡山本苑、岡山県佛教会、岡山県神社庁、キリスト教、黒住教、金光教、立正佼成会、念法真教)により平和祈願と記念講演が行われる。今回はキリスト教が担当する。講演者は

ノートルダム清心女子大学のSr.渡辺和子理事長。担当のアンリ神父様を中心に準備を行っている。(北川弘子)

広島地区

*地区召命祈りの集い

五月二十四日、地区召命祈りの集いが、向原教会で開催されました。聖堂に入りきれないほど司祭、修道者、信徒(八十名以上)が集まりました。

午前中、前田司教様司式で、斉藤神父様、後藤神父様、トウアン神父様がとも

にミサを捧げました。午後から、グループに分かれて昼食と分かち合い(テーマは我が教会の三つの宝)が行われ、最後に皆でロザリオ一環を唱え、集いを終えました。

「あなたの召し出しに応える若い魂を燃え立たせてください」八十余名が心をひとつにして捧げた熱い祈りは、向原の空から天に届いたことでしょう。(児玉協子)

*広島地区教会学校リーダー会

広島地区教会学校リーダー会はリーダーの育成と子どもたちの信仰教育の充実を図ることを目的とした会です。Sr.下條(援助修道会)の定例研修会(三原・呉開催予定)と十一月十六日(土) 幟町教会で長崎大

司教区から古巣馨神父様を講師でお招きして研修会を開催します。研修会では大人は心の学びと見直しを、子どもたちは典礼暦の経験を増やそうと、毎回プログラムを考えております。ぜひこの機会に一度ご参加ください。(川田豊)

海峡からの風 29

下関労働教育センターだより

本場にどうなっているのでしょうか?日本の動きが、個人の思いを濁流のように巻き込んで思わぬ方向に引張って行かれています。ではないでしょうか。「原発海外輸出」と「憲法改定」の二点が「経済的成長戦略」とかの衣の下の鎧どころか、剥き出しの無節操な醜態を見せているように思えるのですが。勿論、様々な考え方が有るのは前提です。

人として受け入れるわけにはいきません。他国に輸出する原発からの使用済み燃料・放射能汚染廃棄物の処理・さらに廃炉迄の不透明等、安全表譚議の陰に隠され、国会もメディアも公にしないのです。ヴェトナムに対しては、日本が引き受けるとしていますが、自分の国の事も出来ず欺瞞(きまん)です。自国の他国への不当な経済・政治行動に黙っているわけにはいかないのです。日本の司教団は脱原発の宣言をしているのですし。

この二点は、広島教区の私たちにとってはつきり責任を問われていることと思います。現政権と経済界は多くの海外の国々へ、首相のトップ外交の形で、原子力に関する協定を結び、原発輸出の道を整えています。しかし、核兵器不拡散条約(NPT)未締結国インドへのまたもや「核の平和利用」というまやかして経済的利益を追求することに、発言し行動する責務が問われていると思えます。現広島市長もインドとの交渉の中止を要請しています。

自分の国で見通しのない、原発産業を他国に輸出する非倫理性を主権者・信仰者の一

そして、「憲法九条は教区の宝」と広島教区は歩んで来ましたが。このたび、「沖縄慰霊の日」に日本司教団代表岡田大司教も「憲法九条は日本・世界の宝」と訴えておられます。戦争行動可能な憲法に変える政治路線を選ぶわけにはいきません。九十九条を変えて、元首とした天皇を憲法の縛りから外す等、九十六条の改定をはじめ、二十世紀の人類の日本の過ちを認め新生を選んだ国の骨格をなし崩しにする流れに祈り・抗する時が来ています。

(下関労働教育センター 林尚志神父)

山口・島根地区

*信仰年地区大会について

信仰年に合わせ、六月二十二日(土)に地区大会①研修会(周南市民館)が行われた。午前中は、溝部脩(みぞべ)高松教区名誉司教のお話。午後からは十五グループで分かち合いを行った。李地区長、司祭、シスター、信徒合わせて約二百三十名参加。

六月三十日(日)には、山口カトリックセンターで地区大会実行委員会を開催し、研修会の反省と十月二十日(日)に開催する地区大会②フェスティバル(山口教会)について話し合った。

*地区少年の集い

「日韓青少年の集い」

八月十一日(日)～十五日(木)にかけて、「日韓青少年の文化体験」聖霊の交わりの中で」というテーマで、釜山教区の新仙教会(主任司祭は岡山地区の李神父実兄)において中・高生の交流を行う。

「親の集い」

四月に引き続き、信仰年

第二回目の「親の集い」を

八月二十五日(日)に、山口カトリックセンターにおいて開催する。講師は六甲学院教師の吉村信夫氏。テーマは「家庭における信仰継承」。参加費は無料。弁当代は五百円。詳細については少年の集い係まで。

少年の集いでは「親の集い」に合わせ、保護者対象に信仰教育についてのアンケートを実施した。

*信者養成研修

「祈りの体験」

九月十四日(土)～十七日(火)に行われる「祈りの体験」準備として、六月二十九日(土)と八月三日(土)にフォロアップ研修が行われる。

伯雲ブロック

*松江教会

聖堂献堂五十周年

六月二十三日に聖堂献堂五十周年記念ミサが、午後一時から司祭、シスター及び伯雲ブロックや遠く静岡からの信徒など約二百五十人が参加して、前田万葉司教様の司式によって厳かなうちに執り行われました。

この聖堂は、松江教会の窮状を聞かれたスベインのマリア・アルカルデさんの多大な寄付によって建てられ、五十年前の同日に野口司教様の司式で献堂式が行われました。

記念ミサに続いて、隣接の松江暁の星幼稚園二階ホールで祝賀会が開催され、今は亡きアルカルデさんに敬意と感謝を捧げるとともに、五十年間に亘り祈りの場を提供してくれた聖堂にも感謝しながら、楽しく有意義なひとときを過ごしました。

なお、この聖堂はこの夏に一部補修し、今後も「祈りの家」として信仰の発信



広島教区の施設 18 社会福祉法人 聖母園の紹介

現在の聖母園は下関市の最西南端彦島を中心地、丘の上に位置し関門海峡を一望する緑の木々に囲まれた豊かな自然環境の中で乳幼児たちが育っています。

戦前・戦後・現在に至るまでの歴史の中でカトリックの福音に基づいた幼児教育・児童福祉の種が蒔かれました。

創立者、故萩原晃教区長と広島教区・イエズス会の歴代の神父様方のお導きにより、現在の聖母園は、地域に根ざした子育て支援施設として歩んでいます。

二〇一二年三月十九日、創立七十五周年記念として園庭丘の上にルルドマリア像を建

地であり続けるとともに、我々もさらに大きな信仰の実をつけたと思います。

*今後の主な行事

・九月八日(日)

永井隆博士追悼平和祈念ミサ (於:雲南市)

・九月十五日(日)

伯雲ブロック勉強会

(於:出雲教会)



立しました。マリア様の慈愛に包まれたまなざしは園児・保護者・職員・訪れた方たちに注がれています。

【沿革の概要】

・一九三七年 現在の彦島カトリック教会内に御摂理の聖母園と名称し幼稚園設立

・一九七〇年

社会福祉法人聖母園となる。

・一九九六年

聖母園子育て支援センター併設

【聖母園の理念】

カトリック精神をもって幼児教育・児童福祉の理念のもと、乳児及び幼児をよき環境のもとに置き、心身ともに健やかな成長を願い地域の中に生かされた園を目標としています。

(園長 齋藤孝子)

青少年の活動

山口・島根地区少年の集い
「乙女峠まつり」
～信仰年～

山口・島根地区少年の集いでは、毎年五月二日の夜、山口線徳佐駅から津和野教会までの約十六kmの区間を様々な小教区の小四〜高三までの信者と、サビエル高校や萩光塩などの学生と先生とで巡礼を行っています。今年は約六十名の参加で、ここ数年では一番少

ない参加数でした。巡礼の途中では、毎年テーマを変えて五カ所で祈りをしています。今年は、「信仰年」をテーマに、シスターが準備してくださった祈りを高校生中心に全員で行いました。翌朝三日は、まつりの巡礼前に、六〜七グループに

分かれて乙女峠で十字架の道行きを行いました。千人塚では、シスターから乙女峠で亡くなられた殉教者の話を聞いた後、皆で祈りを捧げました。今回の巡礼を通して、改めて自分の信仰を考えるきっかけになってほしいと思います。



広島教区での旅路

福山教会・淳心会

フレデリック神父

アフリカのコンゴ民主共和国から来た淳心会のフレデリックと申します。四年前、二〇〇九年九月十一日に神学生として学んでいたフィリピンから来日しました。淳心会の方針に従い、大阪教区の金剛教会に派遣されました。冗談のようですが、コンゴから金剛(こ

んごう)に参りました。来日してから大阪で日本語を学び始め、金剛教会と神戸の聖ヨハネ修道院に各々一年間住んでいました。

初めて広島教区に来たのは、学校での日本語の勉強が終わった後でした。当時神学生の私は、二〇一一年十月に倉敷ブロックに見習いとして派遣され、倉敷で生活しながら、二〇一二年三月二十日に大阪の玉造教会で、フィリピンからの同級生とともに助祭になりました。助祭として倉敷ブ

ロックで見習いを続け、去年十月七日にコンゴで司祭の恵みをいただきました。日本に戻ってきて、倉敷ブロックで協力司祭として少し働き、今年の四月から助任司祭として福山教会に住んでいます。

広島教区に来てからは司祭の集まり、練成会、中ブロック、青年の集まり、平和行事、乙女峠まつり、信徒たちとの交わりなど、様々な教区行事に参加させていた

だき、教区のさわやかな雰囲気と温かい歓迎に感動しています。司祭団をはじめ、倉敷ブロックと福山教会、広島教区の皆様からいろいろ勉強させていただき、様々な分野で支えています。主の平和!

新司祭の私が皆様からいただいた使命を果たすため、また、広島教区で福音宣教を宣べ伝え続けるために、皆様の祈りと支えを引き続きお願いしたいと思います。主の平和!

新司祭の私が皆様からいただいた使命を果たすため、また、広島教区で福音宣教を宣べ伝え続けるために、皆様の祈りと支えを引き続きお願いしたいと思います。主の平和!



二年後の二〇一五年は爆七十年。教会をはじめ様々な組織が記念行事を検討している。一連の行事を通してかつての悲劇を再認識し、平和を心に誓うことは大切だ。しかし行事の成功ばかりに気を取られ、祈る心の無い形式的なものにならないよう肝に銘じたい。



「教区召命練成会」のお知らせ

テーマ：イエスはだれ…
日時：8月4日(日)～6日(火)
場所：カトリック祇園教会

今年も練成会を開催します。小学5年生から中学3年生が参加します。



津和野のマリア像